

KWASSUI
活水高等学校

2026-2030 VISION

高校 新たな歩み宣言

～未来を創造する、新しい活水へ～

2026年3月2日 記者発表資料



1

KWASSUI SENIOR HIGH SCHOOL

募集停止の、その先へ

2025年10月、中学校募集停止の発表。地域の皆さまへ衝撃を与えました。
しかし、私たちはこの危機を「**滞り**」ではなく「**転換点**」と捉えました。

問い この学校の本質は、何なのか？

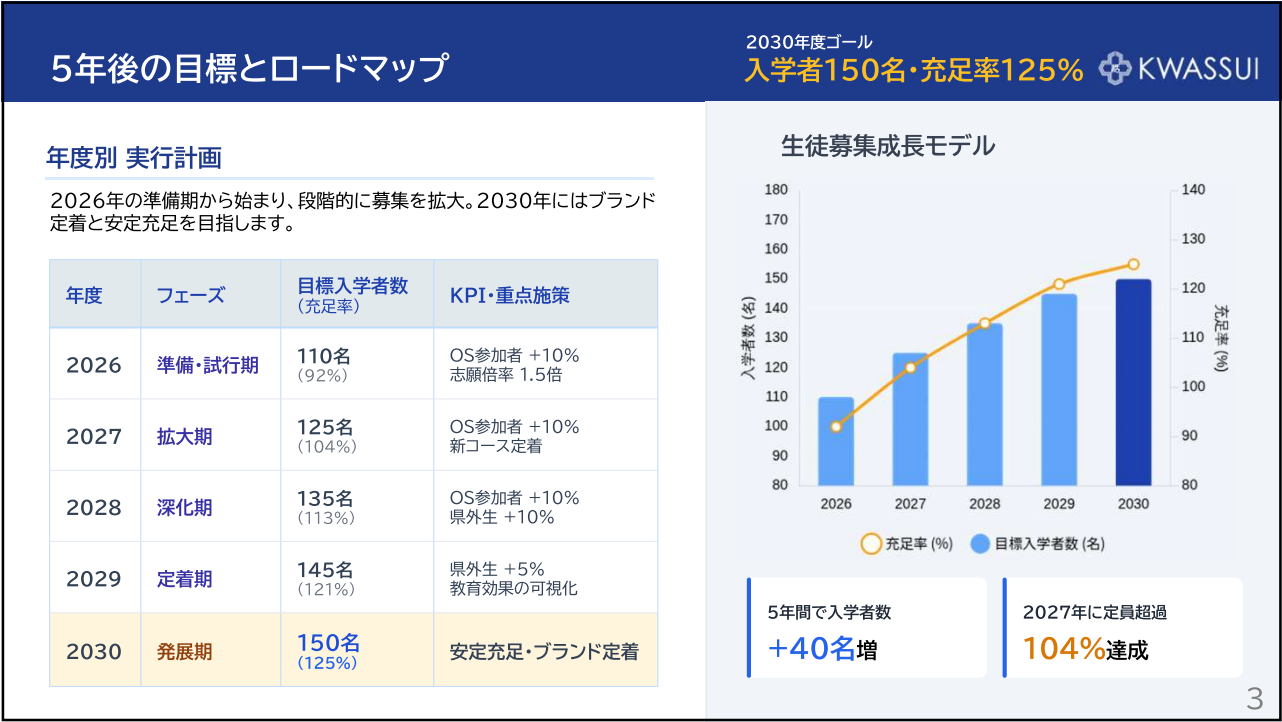
答え 常に時代と向き合い、
新しい教育文化を創り続けてきた姿勢そのもの。

宣言 独自の学校文化を創出し続ける“新しい学校へ”

“地域社会が注視する中、私たちは教育機関が持つ「変革への力」を 証明します。”

2

2



改革の全体像：新しい活水を創る8つの取り組み



伝統を基盤に、未来へ。全方位的な改革を推進します。

01

建学の精神の堅持と 時代適合の人材育成

キリスト教精神に基づく人間教育を土台に、現代社会で活躍できる新しい女性リーダーを育成。

02

新しいコース制の完成 (2026年度 I-III完成)

生徒の多様な進路希望に応える新カリキュラムとコース再編を完了し、学びの質を向上。

03

活水女子大学との 連携強化

併設大学のリソースを最大限活用。早期からの専門教育や高大接続プログラムの充実。

04

「活水ウェルビーイングセ ンター」地域連携プロジェ クト

健康・生活をテーマに、地域課題解決に取り組む実践的な学びの場を創出。

05

地元企業・同窓生との 連携によるキャリア教育

インターンシップや企業探究を通じて、実社会で生きる力と職業観を養う。

06

推薦枠の活用と 海外進学への提示

同盟校・指定校推薦の活用充実と共にグローバルな進路選択肢を積極的に提示。

07

課外活動（吹奏楽等） の推進

全国レベルの部活動支援や、生徒の主体的な活動を奨励し、学校生活の活力を創出。

08

広報戦略の 抜本的強化

「新しい活水」の魅力を多角的に発信。生徒主体の広報活動でリアルな姿を的確に伝える。

5

5

アクションプラン①：教育改革の3本柱



26年度より、生徒の主体性と未来を切り拓く力を育む「新しい学び」を展開

マインドセット変革

「あの子すごいな」
憧れるだけの受動的姿勢

「私もやってみよう」
挑戦を楽しむ能動的姿勢へ

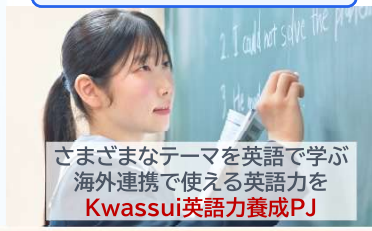


失敗を恐れずチャレンジする
文化を学校全体で醸成
成長マインドセット

英語教育の深化

「英語を学ぶ」
教科としての知識習得

「英語で学ぶ」
ツールとしての実践的活用へ



さまざまなテーマを英語で学ぶ
海外連携で使える英語力を
Kwassui英語力養成PJ

主体性の育成

「与えられた進路」
偏差値による選択

「自分で切り拓く」
自らの価値観に基づく選択へ



社会課題解決プロジェクト等を通じ
自己可能性を積極的に開拓
アントレプレナーシップ

2026年度：特別講座等でトライアル展開 2027年度入学生：カリキュラム改訂・正式科目化

6

6

アクションプラン②:大学・地域との連携強化



高校の枠を超え、大学・地域と共に学ぶエコシステムを構築

活水女子大学との
連携強化

併設大学のリソースを最大限活用し、早期から専門的な学びに触れる機会を創出します。

- ・ 大学施設(図書館・実習室等)の共同利用
- ・ 大学教員による特別講義・出張授業
- ・ 併設ならではの高大接続プログラム
- ・ 単位互換認定の導入

「活水ウェルビーイング
センター(活水学院)」の活用

NEW 高校・大学・地域が連携し、健康と生活をテーマにした新しい交流拠点を始動させます。

- ・ 多世代交流プロジェクトへの参画
- ・ 地域課題をテーマにした探究活動
- ・ PBL(課題解決型学習)の実践フィールド

地域連携の深化
(企業・同窓生)

地元企業や活躍する同窓生の協力を得て、実社会との接点を増やしキャリア観を醸成します。

- ・ 地元中小企業同友会との連携プログラム
- ・ インターンシップ・企業訪問の実施
- ・ 卒業生メンター制の展開

7

7

アクションプラン③:新しい教育体制



「安心してチャレンジできる学校」をつくる

失敗を恐れずに挑戦し、プロセスを通じて成長するサイクルを確立します

心理的安全性の確保



失敗を学びに変える文化

- ✓ 失敗共有会・チャレンジ賞の創設
挑戦したこと自体を称賛する仕組み
- ✓ 1対1面談(1on1)の定着
教員と生徒の対話的な関係性構築
- ✓ ピアサポート活動の推進

多様なチャレンジ機会



教室から社会・世界へ

- ✓ 新カリキュラムの充実
自己探究・アントレプレナーシップ科目
- ✓ 国内外での体験機会の提供
イングリッシュキャンプ、海外研修、留学支援
- ✓ 生徒主体のプロジェクト活動支援

段階的成長を支える



プロセスを評価する

- ✓ スモールステップの設計
小さな成功体験の積み重ねを重視
- ✓ ルーブリック評価
結果だけでなくプロセスや姿勢を評価
- ✓ 振り返りとフィードバックの日常化

8

8

広報戦略と決意

KWASSUI

広報基本方針

中学募集停止をネガティブに捉えず、「新しいことにチャレンジし続ける活水」として、前向きな変化を力強く発信していきます。

Message

「私らしく生きる力」を育む高校へ

なりたい未来を意識した
バックカスティング教育を実践

具体的な広報施策

活水コンシェルジュ活動

・生徒主体のプロジェクトチームを立ち上げ、情報発信やオープンスクール企画を生徒自身が、リアルな魅力で伝える。

ターゲット訴求の強化を生徒視点・保護者視点で推進

・中学3年生の心に響くキャッチコピーを刷新。女子高生が考える、中学生女子向けのキャッチフレーズ活動。

・PTA役員との意見交換を定期的に実施し、保護者目線での意見を盛り込む。

・「変化」と「成長」をキーワードに、ブランドイメージの定着強化。

積極的なメディア・リレーション

・学校行事、校内ニュース等、(例えば吹奏楽部の実績など) 強みを活かした企画を持ち込み、継続的なメディア・アピールを通じて地域注目度を高める。

2027年度入試、勝負の年。

本校の持つ魅力をより具体的に広く伝え、地域社会から注視される学校へ。全教職員が一丸となって、この再生・発展計画を達成します。

再成長への挑戦

9